

踏み跡 <My Mountains>



房総半島の山（千葉県）で一番高い愛宕山は山頂が自衛隊の敷地の中にあり、許可を取らないと頂上を踏むことができないし自動車道路が完備されている。それに比べると、「高宕山（たかごやま）」はかなり山らしい山である。平成6年に初めて登ってみて（NO.251）さらにそれを実感したので、次には南へ進んで三郡山（みこおりやま）まで縦走してみようと思ってリストに書き加えておいた。季節は勿論景色が楽しめる冬。

平成11年2月28日

自宅を6時40分に出発。途中のコンビニエンスストアで昼食用の弁当を買って、穴川ICから京葉道路へ。右前方に絶えず真っ白な富士山が望める快適な旅。木更津北ICで下りて国道409号線・410号線を経て登山口の奥畑に8時40分に到着。近くに水道があったら水を汲もうと思って来たのだが、水道がどこにもない。仕方なく自動販売機でお茶を買ってタンクに詰めることにした。「水道の蛇口がなくても自動販売機はある」おかしな時代になってしまった。8時55分に出発。前はパイパスしてした八良塚（はちろうづか）に立ち寄ることにした。9時36分、肩のように張る尾根から八良塚を往復。ここまででもう半分登ったようなもの。高宕山（330m）10時24分。快晴の空の下、東京湾・



<上>高宕山頂上 <下>三郡山頂上



丹沢・箱根・・・その上に浮かぶ富士山、贅沢な眺めが並ぶ。千葉・幕張・横須賀は海からの水蒸気のせい少々霞がかかったように見える。そして近くにある房総の山々も襞のひとつひとつがうかがえ、何と言っても特徴的な富山・伊予ヶ岳・鋸山。

三郡山への分岐点11時06分。

岩峰12時07分。昼食は買ってきたお弁当と缶ビールなど。岩峰に座って景色を楽しもうという趣向だったが、座り心地が良くないので食事だけ済ませて早めに切り上げる。12時35分に出発。

やや南下して12時57分、307.8m三角点であらためて大休止。恒例の行事をまだクリヤしていなかったので、日差しの温もりを得て昼寝。14時34分、昼寝ですっきりした脳みそで出発。

三郡山（337m）15時45分。薄い林の中に白い標柱が立つだけで、草地があり木々の間から見える山並みが美しい静かな頂上だ。南面に下って横尾林道に出て国道410号線へ、そして北上して君鴨トンネルを抜けて奥畑の駐車地点に17時半に帰着。

汗ばんだ体に夕方の冷気が迫ってきたので、乾いたシャツに着替えて17時50分に出発。家に着いたらちょうど20時だった。

以上

時代は移り変わり、デジタルカメラが世の中に出回ってきた。でも山や植物の写真を撮るのにはやはり銀塩フィルムに一眼レフのカメラに限ると思っている。この山行では初めての試みとして、銀塩フィルムとデジタルカメラの二台を持って見た。殆どの写真を二台のカメラで撮って見た。